

健康づくりは地域づくり 広げたい！健康づくりの輪

健康づくり推進員&食生活改善推進員
合同研修会

5月27日、村民会館大ホールを会場に、村の健康づくり推進員と食生活改善推進員の合同研修会が開催されました。今年度は、健康せきかわ21の運動部会と協力して行われたもので、研修会には約70人が参加。

研修会では「正しいラジオ体操のやり方を学ぼう！」「地域で広めよう！体操の輪！」をテーマに、参加者は実際に体を動かしながら健康づくりの大切さを再確認しました。「地域で広めよう！体操の



輪！」で講師を務めたフィットネスインストラクターの小林雅子さん（下関）は、「骨盤がゆるむと姿勢がゆがむ」と説明。日本人に多いと言われる猫背などゆがんだ姿勢を直す骨盤体操を指導しました。

研修会に参加した健康づくり推進員連絡会の須貝勝会長（高田）は「地域にあった健康づくりを進めていけば必ず成果は出ると思う。今後お互いに協力しながら、皆さんの健康づくりに努めていきたい」と話していました。

若手官僚が 関川小学校で特別授業！

6月4日、今年採用となった国家公務員4人が6年生を対象に特別授業を行いました。これは、毎年実施している国家公務員地方自治体実地研修の一環で行なわれたもので、授業のテーマは「将来の夢」。

特別授業では、研修生が自身の経験談などを基に夢をもつことの大切さや夢を叶えるために努力してきたことなどを児童に語りました。

厚生労働省の三浦玲さんは「夢は歳を重ねるごとにどんどん変わってきた。その中で自分が本当にやりたいことを見つければいい」とアドバイス。須藤稜央くん（大島）は「すごく優しい先生で話しやすかった。漫画家になるのが夢で、たくさんアドバイスをもらいました。今日のアドバイスを参考にしながら、これからも大好きな絵を描き続けていきたい」と話していました。



下関駅前通りを フラワーロードに！ ～花いっぱい運動～

6月2日、村商工会青年部（加藤和泰部長・内須川）と女性部（佐藤秀子部長・下関）の共催で「花いっぱい運動」が行われました。

これは下関駅前通りをフラワーロードにしようという計画されたもので、下関保育園の年長児29人も参加。園児たちは準備されたニチニチ草とメランポジウムを50個のプランターに植え替え、2班に分かれて村上信用金庫関川支店から平田鉄工所までの間25事業所へ似顔絵と一緒に寄贈しました。

大沼颯仁くん（上関）は「はじめてお花植えをしました。今日は暑かったけど、赤・白・黄色の花がきれいでとても楽しかったです。お店の人には、ちゃんとお水やりをしてほしい」と笑顔がはじけていました。

県青少年健全育成県民会議功労表彰

このたび県青少年健全育成県民会議が開催され、八幡良市さん（八ツ口）に青少年健全育成功労者表彰、大石・山と川に親しむ会（高橋八男会長・大石）に青少年健全育成功労団体表彰が贈られました。

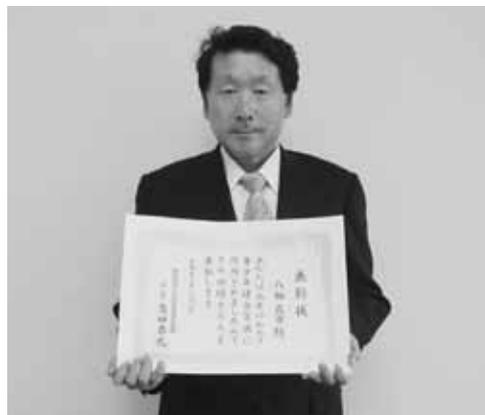
大石・山と川に親しむ会



子どもたちに「大石川」の必要性を知ってもらおうことと、多くの人に親しんでもらうことを目的に植栽をしたり、雪まつりにおいて冬の遊びを伝承したり、さまざまな活動に取り組んできました。

高橋会長は「会の結成から10年を迎えました。これまでの活動が認められ、このようなすばらしい賞をいただけたと思います。これからもなお一層頑張って、若い人たちにも山と川の美化運動に努めてもらえるよう指導していきたい」と話していました。

八幡良市さん



村スポーツ少年団の立ち上げと同時にバレーボールの指導者となり、また、同少年団指導者協議会会長として活動する中、青少年育成関川村民会議運営委員も努め、青少年の健全育成に貢献してきました。

八幡さんは「皆さんから2年越しの推薦があり、今回賞をいただくことができました。大変感謝しています。指導者を続けてこられたことについても子どもたちに感謝しています。今後も村の子どもたちの育成に尽力していきたい」と喜んでいました。

6月5日、農村文化交流センターのくむを会場に「大規模太陽光発電設備建設に関する協定書調印式」が行われ、村と丸紅株式会社（東京都）の子会社である三峰川電力株式会社との間で協定を締結しました。

本事業では、美穂農場跡地（土沢地内）と小見共有地、旧女川中学校の3地点に発電所を建設。設置されるソーラ



**本格稼働は12月から
メガソーラー事業がスタート！**
三峰川電力株式会社（東京都）と協定を締結

パネルには雪に埋もれないよう特殊な設計がされるほか、パネル上に雪が積もるのを防ぐため、角度も30度に設定される予定です。

また、3地点の合計出力は約2700kw、年間発電量の合計は約260万kwを見込んでいて、これは一般家庭約700世帯の年間電力消費量に相当するもの。発電した電力は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、完工後20年間売電します。

平田大六村長は「三峰川電力は伝統ある電力会社で、親会社の丸紅株式会社とは10数年來のつきあいがある。今日無事に調印を交わすことができている。これを機にますます村の発展につながってほしい」と事業の効果を期待していました。

7月には発電所の建設が始まり、12月に本格稼働の予定です。